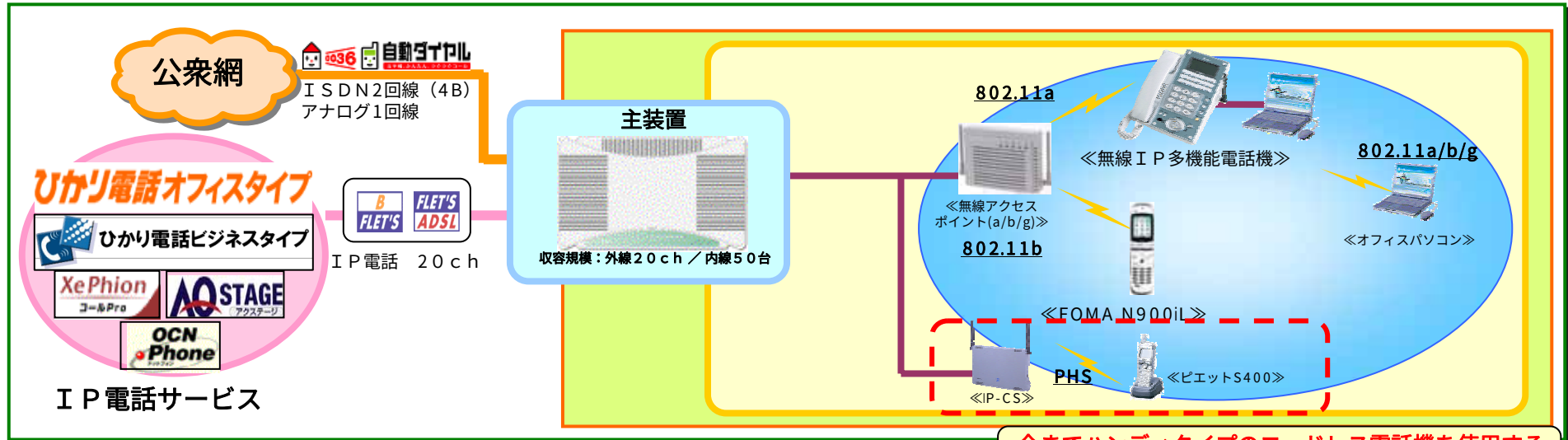
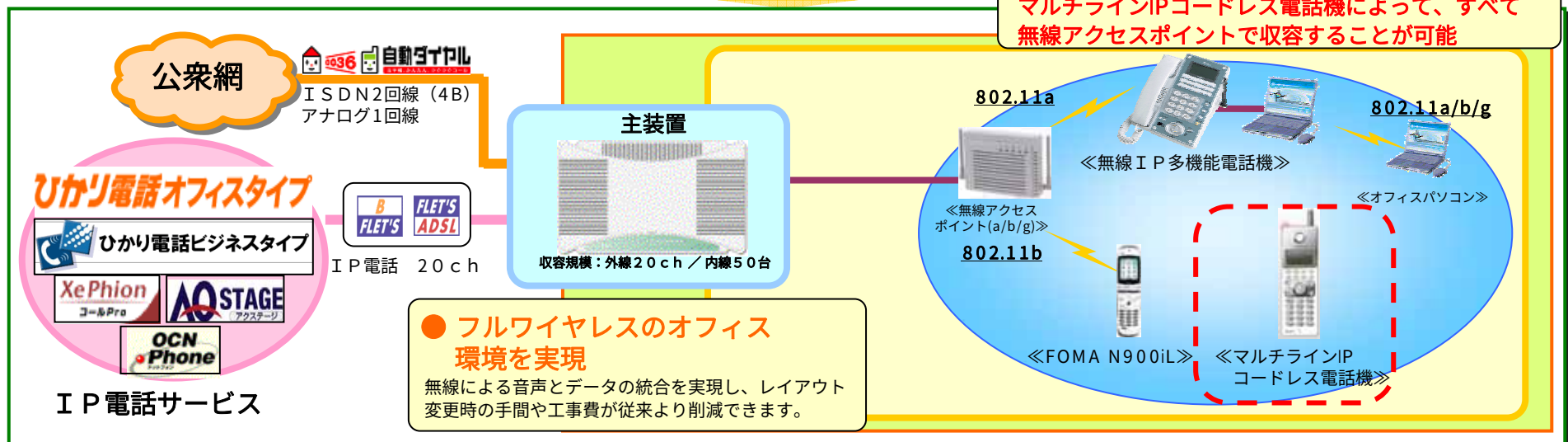


IPコードレス電話機の導入メリット

◆マルチラインIPコードレス電話機は、パソコンやFMC（FOMA/無線LANデュアル端末）等で利用する無線アクセスポイントを共有化することができ、設備投資の削減にも貢献することができます。



今までハンディタイプのコードレス電話機を使用する場合、PHS方式に対応したIP-CSが必要だったが、マルチラインIPコードレス電話機によって、すべて無線アクセスポイントで収容することが可能



Netcommunity SYSTEM X7000の収容制限について

X7000の内線電話機台数の収容制限について

収容端末	最大収容台数	備考
I P多機能電話機	50	無線アクセスポイントの収容数の制限による 無線アクセスポイント1台あたり10台のI P多機能電話機を収容可能
無線I P多機能電話機	50	
マルチラインIPコードレス電話機	12	
FOMA N900iL	50	
デジタルコードレス電話機（PS）	32	
単体電話機	2	
ドアホン	1	

無線アクセスポイント（a／b／g）の収容制限について

収容端末	最大収容台数	備考
無線I P多機能電話機	10	
802.11a無線LANカード	10	音声優先機能を有するため802.11aのパソコンとI P多機能電話機を共用が可能。
無線ステーション（無線I P多機能電話機） 配下のパソコン	10	
マルチラインIPコードレス電話機	4	ただし同時通話数は、IPコードレス電話機、FOMA N900iL合計で6通話まで
FOMA N900iL	12	
802.11b／g無線LANカード	(10)	IPコードレス電話機、FOMA N900iLを収容するときは、802.11b／g無線LANカードを収容できません。（音声優先機能がないため）